

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	屋外空気環境小委員会	主 査 名：持田 灯 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (空気環境運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：持田 灯
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な屋外空気環境の形成に重要となる課題について、現状の技術水準を明らかにするとともに、それらを適切に利用するための技術資料を論文や刊行物として整理する。</li> <li>・今期は、2007 年に刊行した「市街地風環境予測のための流体数値解析ガイドブック」の増補・改訂版の刊行に向けての活動を中心に進める。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：持田灯 (東北大学), 幹事：富永禎秀 (新潟工科大学) 委員：飯塚悟 (名古屋大学)・大岡龍三 (東京大学生産技術研究所)・大風翼 (東京工業大学)・白澤多一 (大妻女子大学)・義江龍一郎 (東京工芸大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検証用ベンチマーク実施WG (主査：義江龍一郎)</li> </ul> これまでに実施した市街地の拡散問題を対象としたベンチマークテストに加え、より複雑な形状や LES によるベンチマークテストを実施する。	
2015 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1 .
講習会	1 . <span style="float: right;">参加者数 名</span>
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1 . <span style="float: right;">参加者数 名</span>
	2 . <span style="float: right;">参加者数 名</span>
大会研究集会	1 . <span style="float: right;">参加者数 名</span>
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1 .
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	本年度は、昨年度に引き続き WG の活動を中心とし、実験データ及び解析結果の収集を進めた。今後はこれらの結果を分析・整理し、データベース及びガイドラインとしてまとめていきたい。
委員会活動の問題点 ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市街地風環境予測のための流体数値解析ガイドブック」の増補・改訂に関しては、具体的な作業に着手していないので、小委員会として編纂に関する活動を活性化したい。</li> <li>・来年度から主査、幹事を変更して活動する予定。</li> </ul>

## 2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>・本年度は、WG の活動をメインに行った。RANS 拡散ベンチマーク、RANS 非等温気流ベンチマーク、LES 周辺気流ベンチマーク等を実施し、結果を取りまとめている段階である。成果の一部は本会技術報告集に投稿し、2016 年 6 月号に掲載が決定した。なお WG の活動は、市街地大気汚染の環境影響評価手法検討 [若手奨励] 特別研究委員会と連携して進めた。</p> <p>・大会のオーガナイズドセッションの企画を担当した。「大気境界層と都市キャノピー流れ・拡散のモデリング：計測、モデル化、シミュレーション」と題して、10 編の発表が行われ、活発な討論を行うことができた。</p> <p>・国際委員会の「既刊刊行物の英文化経費援助」を受け、本小委員会が企画・執筆し、本会より 2007 年に既刊された「市街地風環境予測のための流体数値解析ガイドブッカーガイドラインと検証用データベース」を英文化する作業を進めた。既に脱稿し、企画刊行運営委員会での最終的な承認を得て、今年度中に電子書籍として出版される予定である。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。